

みらい



No.5

主な内容

平成29年

2月議会 5月議会
6月議会 要旨報告

討議資料

発行責任者/渡部 英治 ■ 編集責任者/三浦 茂人

向日葵(ヒマワリ:キク科ヘリアンサス属)一年草。日回りとも表され、種実は食用、油糧となる。暑さや寒さに強く丈夫。「ヒマワリ」の属名「ヘリアンサス」は「太陽の花」の意。

今こそ、県政課題へ果敢にチャレンジ!

秋田県議会
建設委員会 副委員長
議会運営委員会

佐藤 正一郎

皆様におかれましては、益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。

さて、県議会第2会派「みらい」は、4月よりよしかたせいげん吉方清彦議員を迎え「戦う政策集団・七人の侍」として、新たな体制で県政の最重要課題である人口減少対策、とりわけ「若者の定着」や「女性の活躍できる環境づくり」のため、魅力ある働く場の確保などの重点施策に、今こそ、果敢にチャレンジする覚悟であります。

皆様には、引き続き、ご指導ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。



「みらい」の7人は、どの政党にも所属しない無所属の議員で構成されております



吉方 清彦
(能代市山本郡)

佐藤 正一郎
(湯沢市雄勝郡)

三浦 英一
(由利本荘市)

渡部 英治
(大仙市仙北郡)

土谷 勝悦
(横手市)

東海林 洋
(湯沢市雄勝郡)

三浦 茂人
(秋田市)

2月議会

平成29年・第1回定例会
2月7日～3月9日

平成29年度当初予算は、4月に知事改選期を迎えることから、骨格予算とすることを基本としつつも、あきた未来総合戦略に基づく継続事業や、県民の生活を支える基盤づくりなど、年度当初から執行が必要な事業について計上されました。

当初予算の主な内容

平成29年度 一般会計 当初予算

5,635億5,800万円

● ウェルカム秋田！移住就業応援事業

…………… 7,439万円

農林水産業等への就業を希望する移住希望者に対する情報提供、体験研修、技術指導等を行う。

● 「くらし×しごと」パッケージによる移住促進事業

…………… 3,166万円

本県にある「多様な仕事」と「移住・定住支援策」をパッケージにしたプランの提示及び現地体験プログラムを実施する。

● 子育てしやすい職場づくり推進事業

…………… 2,798万円

一般事業主行動計画の策定など少子化克服に資する企業の取組を促すとともに、普及啓発活動による仕事と子育ての両立支援の促進を図る。

● 生活バス路線等維持事業 …………… 1億8,380万円

地域内の生活交通を確保するため、市町村が運営または助成している生活バスの運行経費等に対し助成する。

● 地域で支える認知症施策推進事業 …………… 4,821万円

認知症の人やその家族が住み慣れた地域で安心して生活を送れるよう、地域で支える体制の構築を図る。

● 新 枝豆といえば秋田！ブランド産地確立事業

…………… 1,481万円

えだまめ日本一の産地としての地位を確固たるものとするため、更なる出荷量の増大、長期安定出荷、高品質化を推進するとともに、新たなネーミング等による各種プロモーション、販路開拓等を推進する。

2月議会 代表質問

渡部 英治 [大田市仙北郡]

- ◆ 知事の三選出馬と将来ビジョンについて
- ◆ 人口減少対策について
- ◆ 農業政策について
- ◆ 県・市連携文化施設について
- ◆ インバウンド誘客対策について

2月議会 一般質問

土谷 勝悦 [横手市]

- ◆ 知事の政治姿勢について
- ◆ 人口減少対策について
- ◆ 農業政策について

2月議会 総括審査質問

東海林 洋 [湯沢市雄勝郡]

- ◆ 東北中央自動車道の事業化について
- ◆ 農業生産と収益性について
- ◆ 林業・木材産業における人材育成と県立大学等への専門学科等の創設について
- ◆ スポーツ施設の整備のあり方について

佐藤 正一郎

[湯沢市雄勝郡]

- ◆ あきた未来総合戦略と当初予算について
- ◆ 県・市連携事業について

三浦 茂人 [秋田市]

- ◆ まちづくりの推進について
- ◆ 県・市連携文化施設について

県外調査

〈福岡県・大分県／平成29年6月6日～8日〉

- 秋田県福岡事務所 … 九州における県産品の販路拡大と観光誘客について
- 博多港国際ターミナル … グルーズ船用のターミナル施設視察
- 大分県北部振興局 … 地域振興に係る取組について
- 豊後高田市観光まちづくり株式会社 … 「昭和の町」視察、概要説明



● 豊後高田市役所

移住者支援の取組について (豊後高田市 佐々木敏夫市長と)



● ウーマンメイク株式会社

女性起業家による水耕栽培の取組と今後の展望について

5月11日・12日議会

平成29年・第1回定例会

今回の補正予算は、県政の推進に係る新たな指針の策定に要する経費のほか、秋田の創生に向けた取組、公共事業等のうち、緊急に対応が必要な事業について計上されました。

5月補正予算の主な内容

平成29年度 一般会計 補正予算 **5億4,716万円**
補正後の規模 **5,641億 1,517万円**

新「第3期ふるさと秋田元気創造プラン」策定事業 …… 461万円

「第2期ふるさと秋田元気創造プラン」に続く新たな県政の運営指針を策定する。

- 県・市連携文化施設整備事業 …… 5,017万円
県・市連携文化施設の整備に向けて、調査等を行う。

5月25日議会

平成29年・第1回定例会

5月15日の降ひょうにより被害を受けた農家の経営再建に向け、緊急に対応が必要な事業について補正予算が追加提案されました。

5月補正予算の主な内容

平成29年度 一般会計 補正予算 **1億3,392万円**
補正後の規模 **5,642億 4,909万円**

新 果樹産地等緊急総合支援事業 …… 3,328万円

病虫害防除薬剤費・肥料費・種苗費の助成、摘果作業等に要する雇用労賃の助成、販売促進費の助成

6月議会

平成29年・第1回定例会
6月13日～7月6日

今回の補正予算は、人口減少を克服し秋田の創生を加速させるための新規・拡充事業のほか、最終年度を迎えた「第2期ふるさと秋田元気創造プラン」を推進するための事業等について計上されました。

6月補正予算の主な内容

平成29年度 一般会計 補正予算 **243億 1,108万円**
補正後の規模 **5,885億 6,017万円**

新 秋田のしいたけ販売三冠王獲得事業 …… 3億4,975万円

東京中央卸売市場におけるしいたけの販売量、販売額及び販売単価の全国一位の達成に向けた販路拡大や生産体制の整備等を支援する。

新 オール秋田で働くパパ・ママ応援事業 …… 515万円

企業における仕事と子育ての両立支援の取組を更に促進するとともに、働くパパ・ママの子育てを全県的に応援する機運の醸成を図る。

新 スタジアム整備のあり方検討事業 …… 89万円

サッカーを中心としたスタジアム整備にあたっての諸条件や課題等を整理するため、検討委員会を設置する。

新 お互いさまスーパー拡大展開事業 …… 351万円

地域コミュニティの維持・活性化を図るため、地域住民が運営する「お互いさまスーパー」の普及や機能強化を図る。

新 「秋田ファンづくり」移住推進事業 …… 875万円

将来の秋田移住へとつながる移住潜在層の移住意識を高めるため、秋田の魅力発信等を通じて秋田ファンづくりを推進する。

● ツキノワグマ被害防止対策事業 …… 682万円

ツキノワグマの捕獲の担い手を育成・確保するため、新たな狩猟免許等の取得や猟銃等の購入を支援する。

6月議会 一般質問

6月議会 総括審査質問



三浦 英一 [由利本荘市]

- ◆ 知事の三期目の県政運営について
- ◆ クマ被害防止対策について
- ◆ 小学校の英語教育について
- ◆ サッカースタジアムの整備について

佐藤 正一郎 [湯沢市雄勝郡]

- ◆ 県立美術館の改装について
- ◆ インバウンド推進旅行会社への出資について



三浦 茂人 [秋田市]

- ◆ 中心市街地の交通政策について
- ◆ スタジアム整備構想について

佐藤正一郎の 県議会レポート



2月議会は県政の指針である「あきた未来総合戦略」と当初予算、6月議会では「県立美術館の改修」などについて、予算特別委員会総括審査で具体的な質疑を行いました。

「元気な秋田」を創造しよう!!
<http://www.sho-ichiro.net/>

さとう正一郎ホームページ
さとう正一郎 検索

開館4年目の県立美術館を改修

秋田市中心市街地活性化事業の中核として整備された県立美術館は、藤田嗣治の「秋田の行事」などを常設展示する美術館として、世界的な建築家・安藤忠雄氏が設計。旧美術館の三角屋根に着想したコンクリート建築で、県民ギャラリーは窓が大きく明るく開放的な空間が特色です。

展示室の仕切りや照明等に約8千万円の改修費を投じて基本的な構造は変わらず、施設に見合った使い方をすべきではないかと質し、施工内容のさらなる工夫を求めました。

県が民間旅行会社へ出資する目的は

県が民間企業に出資するのは公益性が高い場合に限り、最近では平成16年に秋田ステーションビル(株)に出資して以来、例はありません。行財政改革で県が出資から撤退、あるいは比率を軽減している流れの中で「すでに会社が設立され、業務を開始している旅行会社に出資する理由は何か」などと質し、公平性を保つ適切な執行を促しました。

県立美術館改修事業

異例の質疑やり直し

教育長が説明不足陳謝

教育公安委

約8千万円を支出する県立美術館(秋田市中通)の改修事業を巡り、県議会教育公安委員会は4日、異例の説明が不十分だと異例の質疑やり直しを決めた。この日の予算特別委員会総括審査で県教育庁が説明不足を認め、異議の間に事業の公益性を踏問する声があがり、さとう正一郎に改めて教育公安委を開き、事業の積極根拠などを審議する。

・県議会

事業は県立美術館の入館者数が増えていること、4日の総括審査で佐藤正一郎、利用が低調な県民ギャラリー(みらい)は、世界的建築家・安藤忠雄氏が設計した修予算の半分は国の交付金。ことに触れ、今になって8千万円をかける改修するのは、現在の県立美術館は中心市街地活性化の目玉として、県納できない。著名な建築家や市が約20億円の事業費を投じているのか、もっと

た。28日の予算特別委(内容)を報告していた。常任委員会が質疑やり直して議案が紛糾。総括審査後にすは異例。最近では、2013年の6月県議会(県立天) (佐藤明紀、石塚健信) 佐竹知事は「県が包括的なトップセルを、旅行会社(本県の旅行商品を)手配できる」としたい。出資は最低限度の100万円だが、株主としても意向を伝えられる。政策財に判断した」と述べた。 出資の方針を固めた経緯について、県観光文化スポーツ部(草野作博部長)は「4月中旬に会社側から申請を受け、趣旨に賛同した。海外で営業する上で、役所が関われば相手に信頼を与えることになる」と説明した。(石塚健信)

◆平成29年7月5日付 秋田魁新報 掲載

平成29年度 第2回定例議会

【会期/9月13日(水)~12月22日(金) (予定)】

9月議会では 一般質問を予定しています。

皆様のご意見をお寄せ下さい。